



2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月10日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
 コード番号 4440 URL https://www.witz-inc.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 脇田 周爾 TEL 052-220-1218
 四半期報告書提出予定日 2020年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2020年8月期第1四半期の連結業績（2019年9月1日～2019年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	488	△11.6	44	△11.5	44	△10.8	30	△10.5
2019年8月期第1四半期	552	—	50	—	50	—	34	—

（注）包括利益 2020年8月期第1四半期 30百万円（△12.2%） 2019年8月期第1四半期 34百万円（—%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	7.57	7.39
2019年8月期第1四半期	11.69	—

- （注）1. 当社は2018年8月期第1四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年8月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
2. 2018年11月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
3. 2019年8月期第1四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第1四半期	2,236	1,697	75.1
2019年8月期	2,233	1,683	74.6

（参考）自己資本 2020年8月期第1四半期 1,680百万円 2019年8月期 1,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	0.00	—	4.00	4.00

- （注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2. 2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年8月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,502	8.8	330	31.3	301	△1.0	193	△16.0	47.80

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、四半期決算短信（添付資料）6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期1Q	4,054,000株	2019年8月期	4,054,000株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	ー株	2019年8月期	ー株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期1Q	4,054,000株	2019年8月期1Q	2,934,000株

（注）2018年11月1日付で普通株式1株につき1,000株の割合で株式分割を、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」より日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、米中貿易問題や欧州経済の不安材料などから世界的な景気減速感が強まり、我が国の経済にも多岐に渡り影響が出ております。中国や欧州での自動車および工作機械の販売低迷から、当該地域への事業比率が高い一部の当社主要顧客において、業績が悪化しております。

当社グループの主たる事業分野である自動車関連の組込ソフトウェアは、主要顧客の業績に連動し、新製品開発などに一部影響が出ております。一方、自動車技術は変革期にあり、引き続きCASE（Connected, Autonomous, Shared & Services, Electric）対応に伴う製品開発や研究などへの積極的な投資が見込まれます。特にCASE対応のAutonomous（自動運転）に関連した自動運転/先進安全シミュレータ開発などの需要は高止まりの状況であります。

このような事業環境を背景に、当第1四半期連結累計期間におきましてもCASE対応の自動運転/先進安全シミュレータ開発や組込セキュリティサービスの積極的な提案を進め、売上及び利益の拡大に努めてまいりました。

また、地方自治体と連携して、CASE対応のServicesに関連した移動弱者を支援する地域密着型Town MaaS（Mobility as a Service）への積極的な研究投資を推進し、新事業の創成に向けた取組を行っております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高488,830千円（前年同期比11.6%減）、営業利益44,277千円（前年同期比11.5%減）、経常利益44,969千円（前年同期比10.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益30,701千円（前年同期比10.5%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

1. 組込システム事業

当セグメントにおいては、自動車・産業製品向けの制御ソフトウェア、リアルタイムオペレーティングシステムなどのソフトウェアプラットフォーム提供、組込セキュリティなどの受託案件を行いました。一部の主要顧客における開発縮小などの影響を受けております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は275,803千円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は72,842千円（前年同期比103.8%増）となりました。

2. システムズエンジニアリング事業

当セグメントにおいては、自動車関連のシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供とデジタルコンシューマ機器向けの基盤技術提供を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は172,838千円（前年同期比15.8%減）、セグメント利益は61,474千円（前年同期比7.0%減）となりました。

なお、当セグメントが前年同期比較で減収減益となっておりますのは、期初における人事異動等により当セグメント内の一部プロジェクトが組込システム事業に移管したためであります。

3. 機能安全開発事業

当セグメントにおいては、近年の電子機器装置の安全性を担保するために必要なコンサルティング・安全性分析支援と安全性の高いソフトウェア開発を行うためのソフトウェア開発プロセス作成の支援を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、コンサルティングサービス等の受注の先送りの影響を受け、売上高は30,688千円（前年同期比35.7%減）、セグメント利益は5,901千円（前年同期比76.0%減）となりました。

4. その他

当セグメントにおいては、株式会社アトリエ、株式会社ヴィッツ沖縄が含まれております。

当第1四半期連結累計期間においては、売上高は25,822千円（前年同期比14.0%減）、セグメント損失は4,927千円（前年同期は6,583千円のセグメント利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、1,970,170千円（前連結会計年度末比0.0%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,576,840千円（前連結会計年度末比3.2%減）、仕掛品173,536千円（前連結会計年度末比18.3%増）、受取手形及び売掛金157,702千円（前連結会計年度末比6.1%増）であります。

固定資産は、266,382千円（前連結会計年度末比1.6%増）となりました。主な内訳は、保険積立金109,110千円（前連結会計年度末比4.1%増）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、2,236,553千円（前連結会計年度末比0.2%増）となりました。

（負債）

流動負債は、329,083千円（前連結会計年度末比4.1%減）となりました。主な内訳は、買掛金67,789千円（前連結会計年度末比8.6%増）、賞与引当金37,459千円（前連結会計年度末比58.5%減）、未払法人税等21,445千円（前連結会計年度末比65.5%減）であります。

固定負債は、210,381千円（前連結会計年度末比1.8%増）となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債117,209千円（前連結会計年度末比3.6%増）、長期未払金84,767千円（前連結会計年度末同額）であります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、539,465千円（前連結会計年度末比1.9%減）となりました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,697,088千円（前連結会計年度末比0.8%増）となりました。主な内訳は、資本金583,789千円（前連結会計年度末同額）、資本剰余金518,278千円（前連結会計年度末同額）、利益剰余金578,638千円（前連結会計年度末比2.6%増）であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2019年10月11日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

なお、当該業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,628,916	1,576,840
受取手形及び売掛金	148,574	157,702
仕掛品	146,747	173,536
その他	47,215	62,820
貸倒引当金	△690	△730
流動資産合計	1,970,764	1,970,170
固定資産		
有形固定資産	23,543	25,134
無形固定資産	13,966	12,651
投資その他の資産		
保険積立金	104,780	109,110
その他	119,963	119,487
投資その他の資産合計	224,744	228,597
固定資産合計	262,254	266,382
資産合計	2,233,018	2,236,553
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,414	67,789
1年内返済予定の長期借入金	1,008	1,008
未払法人税等	62,169	21,445
賞与引当金	90,219	37,459
製品保証引当金	10,475	4,853
受注損失引当金	—	1,311
その他	116,732	195,216
流動負債合計	343,018	329,083
固定負債		
長期借入金	1,640	1,388
役員退職慰労引当金	5,287	5,680
退職給付に係る負債	113,098	117,209
長期未払金	84,767	84,767
その他	1,820	1,335
固定負債合計	206,614	210,381
負債合計	549,633	539,465
純資産の部		
株主資本		
資本金	583,789	583,789
資本剰余金	518,278	518,278
利益剰余金	564,153	578,638
株主資本合計	1,666,220	1,680,706
非支配株主持分	17,163	16,382
純資産合計	1,683,384	1,697,088
負債純資産合計	2,233,018	2,236,553

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	552,786	488,830
売上原価	388,686	330,401
売上総利益	164,099	158,429
販売費及び一般管理費	114,077	114,151
営業利益	50,021	44,277
営業外収益		
保険解約返戻金	313	78
保険事務手数料	219	223
受取手数料	164	249
その他	0	150
営業外収益合計	696	701
営業外費用		
支払利息	25	8
為替差損	274	—
営業外費用合計	300	8
経常利益	50,417	44,969
税金等調整前四半期純利益	50,417	44,969
法人税等	15,770	14,558
四半期純利益	34,647	30,411
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	360	△289
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,287	30,701

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	34,647	30,411
四半期包括利益	34,647	30,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,287	30,701
非支配株主に係る四半期包括利益	360	△289

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年9月1日至2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	組込システム事業	システムズエンジニアリング事業	機能安全開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	293,966	205,162	47,743	546,872	5,913	552,786
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	24,110	24,110
計	293,966	205,162	47,743	546,872	30,023	576,896
セグメント利益	35,740	66,073	24,628	126,441	6,583	133,024

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	金額
報告セグメント計	546,872
「その他」の区分の売上高	30,023
セグメント間取引消去	△24,110
四半期連結損益計算書の売上高	552,786

利益	金額
報告セグメント計	126,441
「その他」の区分の利益	6,583
全社費用(注1)	△86,433
その他の調整額(注2)	3,430
四半期連結損益計算書の営業利益	50,021

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2019年9月1日 至 2019年11月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	組込システム事業	システムズエンジニアリング事業	機能安全開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	275,803	172,838	30,688	479,330	9,500	488,830
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	16,322	16,322
計	275,803	172,838	30,688	479,330	25,822	505,152
セグメント利益又は損失(△)	72,842	61,474	5,901	140,218	△4,927	135,290

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	479,330
「その他」の区分の売上高	25,822
セグメント間取引消去	△16,322
四半期連結損益計算書の売上高	488,830

利益	金額
報告セグメント計	140,218
「その他」の区分の損失(△)	△4,927
全社費用(注1)	△94,469
その他の調整額(注2)	3,456
四半期連結損益計算書の営業利益	44,277

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。